

Once upon a time in Utsunomiya

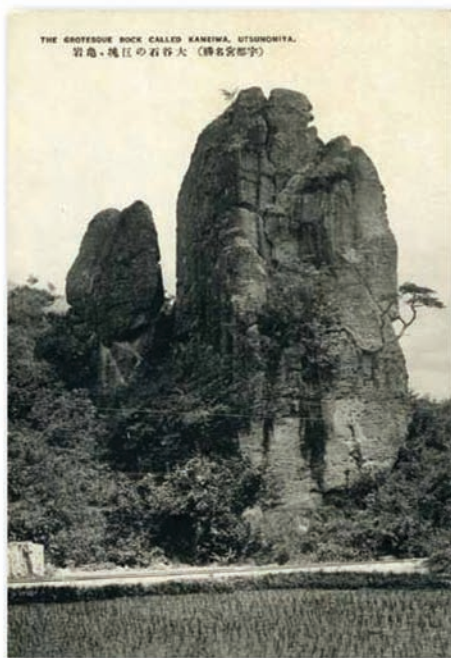
# 一枚の絵葉書から 石井敏夫コレクションより

## 第65回

# 大谷 奇岩・怪岩八景



現存する鶴岩



今はなき亀岩。基部には軌道が走る



天狗の投げ石



弘法の積岩



岩原にあった材木岩



達磨岩の妙



奇勝中の俣観、兜岩



揃白岩付近の景観

「陸の松島」「関東耶馬溪」と称される石の里大谷。今もなお奇岩、怪岩、そして巨岩を町のいたるところで見ることができ、かつては今を勝る自然の妙が数多く存在していた。絵葉書にある「兜岩」、「材木岩」、「亀岩」などがそれである。

大谷石は海底火山の噴出物が堆積したもので、奇岩、怪岩はこれらが隆起して陸地になったのちに、長年の風雨により浸食され形成されたと考えられる。しかし、大谷石の採掘が当初は露天掘りであったために、その多くが石の切り出しによつて消滅してしまった。現存していたなら南面を思わす圧巻の景観だったに違いない。今に残るのは、「天狗の投げ石」、「鶴岩」など。二〇〇六(平成十八)年には、「御止山」と「越路岩」の二カ所が国の名勝に指定された。